

栃木県社会福祉士会会報



〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 発行 一般社団法人栃木県社会福祉士会
 TEL 028-600-1725 発行責任者 松永千恵子
 FAX 028-600-1730 編集責任者 福原 健治
 ホームページアドレス <http://www.tochigi-csw.org/>

58号

発行日 令和4年7月20日

羅針盤



栃木県社会福祉士会の新たな出発

会長 松永 千恵子



羅針盤	1
栃木県社会福祉士会 理事・監事紹介	2~3
一般社団法人栃木県社会福祉士会組織図	4
情報の広場	4~5
授産製品・店舗紹介	5
福祉士おもしろいだけリレー	6
福祉士会通信	6~7
講師派遣事業のお知らせ	8
フードバンクにご協力ください	8
栃木県社会福祉士会 メールマガジン登録のご案内	8
会報についてのご意見募集	8
編集後記	8
(広告) 福祉用具のひまわり館	8

この度、当会の会長を再度、仰せつかりました松永でございます。前期二年間に引き続き大役を拝命し、まさに身の引き締まる思いでございます。就任に当たり、会員の皆様に一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルスの影響がまだまだ続く状況下、皆様におかれましては“with コロナ”の生活にご苦勞のことと存じます。前期二年間を振り返りますと、当会の活動も“with コロナ”への対応を考えながらの活動であったと言わざるを得ません。感染を防ぐため会議や研修はオンライン形式を多用しておりますが、最近では些細なことでも話し合える対面形式の良さを実感しております。

当会の活動でございますが、前期には、新たに「栃木県社会福祉士会講師派遣事業」を立ち上げて栃木県内の事業所や機関に会員を講師として派遣し、多くの会員をご活用いただきました。また、スクールソーシャルワーカー（以下、SSW）プロジェクトチームも同様に新設し、2021年度から配置が始まった県内のSSWの交流に携わり、栃木県が行う研修に会員3名を講師として送り出しました。その他にも理事の皆様や委員会の委員の皆様のおかげで、「ばあとなあ」や第三者評価・外部評価、虐待対応、基礎研修・任意研修、災害支援、広報といったこれまでの活動をコロナ禍におきましてもなんとか維持することが出来ました。6団体の活動としては特筆すべきこととして「20年史」を会員のご協力の下、無事に発刊するに至りました。

日本社会福祉士会の求めに応じる形で2022（令和四）年2月、「2024年度日本社会福祉士会全国大会」の栃木開催を理事会で決定いたしました。

その後、実行委員長（1名）、副委員長（2名）を任命し、この文章を書いている7月3日に、視察を兼ねた2022年度全国大会（東京大会）から戻ってきたばかりでございます。総勢1500人以上の会員が出席した東京大会をマネジメントすることの困難さを垣間見て、栃木大会の際には会員の皆様のお力を是非お借りしたいと願っております。

社会福祉の世界に目をやれば、地域共生社会の実現に向けて核となる「重層的支援体制整備事業」の本格的な始動がすでに始まっています。社会福祉士と精神保健福祉士の活用が「地域共生社会実現のための社会福祉法の一部を改正する法律」の付帯決議に記され、これからは更なる変化が見込まれます。微力ながら当会会長として今後2年間、会の発展のために努力していく所存でございます。是非とも会員の皆様のお力添えをお願いいたしまして、簡単ではございますが会長就任のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。



栃木県社会福祉士会 理事・監事紹介

掲載内容は、①氏名 ②ふりがな ③所属名称 ④職種名 ⑤マイブーム ⑥社会福祉士会役員になつての抱負

会員理事 13名

- ①阿部 和史
- ②あべ かずふみ
- ③株式会社ソーシャルワーク和
- ④代表取締役 社会福祉士
- ⑤キックボクシング、キャンプ、サッカー、ツーリング
- ⑥3期目の栃木県社会福祉士会理事と



権利擁護委員会委員長をさせていただく事になりました。まだまだ至らない事も多いですが、微力を尽くさせていただきます。しかし、現在、例会はリモートで行わざるを得ないので、以前に比べて大所帯となったメンバーの調整も難しさを感じます。今後、新型コロナの状況にもよりますが、対面での会議が早く行える事を切に願っております。

- ①阿部 千亜紀
- ②あべ ちあき
- ③OWL Tochigi LLC
- ④社会福祉士・介護支援専門員
- ⑤鎌倉殿の13人
- ⑥今回で3期目を務めさせていただきます。



権利擁護センターばあとなあとちぎで、成年後見人養成研修を担当しております。心ふさぐニュースにくじけそうになりながらも、今日の自分があるのは県士会活動で出会った方々のおかげです。会員の皆様のお役に立てるよう尽力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

- ①河原 典子
- ②かわはら のりこ
- ③学校法人国際医療福祉大学
介護老人保健施設マロニエ苑
- ④相談室室長・主任介護支援専門員
- ⑤神社・お寺を巡り、御朱印をいただく。コロナ禍ということもあり、ここ数年自粛していましたが、また少しずつ始めています。
- ⑥今年度より、理事を務めさせていただくことになりました。生涯研修センターで主に実習指導者講習会を担当させていただきます。栃木県社会福祉士会の研修や機会を通して、様々な分野の方々と繋がりを広めることができ、とても大きな力になっています。今までの学びや経験を活かしながら、会員の皆様に少しでも貢献できるよう活動に取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



- ①小口 みほ子
- ②こぐち みほこ
- ③有限会社ふきのとう
- ④代表・デイサービスふきのとう施設長／介護支援専門員
- ⑤コストコで買い物（ストレス発散になります）



- ⑥今回3期目を務めさせていただきます。前期に引き続きばあとなあ担当理事・ばあとなあ委員長を務めさせていただくことになりました。成年後見制度の利用促進に働きかけることができればと思います。微力ですが会員の皆様のお役に立てるよう尽力したいと思います。よろしくお願いいたします。

- ①鈴木 康之
- ②すずき やすゆき
- ③特別養護老人ホーム ふじやまの里
- ④介護支援専門員
- ⑤キャンプ
- ⑥この度、当会理事を務めさせていただきますこととなりました。



社会福祉評価委員会にも所属しており、今まで多くの方々との関わりやお話を聴く機会を頂きました。この経験を少しでも当会への一助となるように尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

- ①富田 裕之
- ②とみた ひろゆき
- ③社会福祉法人千成会 どんぐり亭
- ④管理者兼介護支援専門員
- ⑤グミにハマっています。新商品を見つけたらすぐに手が伸びてしまいます。
- ⑥この度、3期目として理事を務めさせていただきますことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。生涯研修センターを担当いたします。会員の皆様のために、更にお役立ちできるよう努力したいと思います。



- ①野尻 政彦
- ②のじり まさひこ
- ③一般社団法人栃木県社会福祉士会事務局
- ④事務局長
- ⑤知りたいこと、学びたいことは次々でてる。ここ数年、読みたくて買った本が増えていく一方で、読書の時間が確保できないが、「忙中有閑」ということで、「六中観」「六然」を日々、心に留め置いて生活したい、この頃。感染症を警戒して、博物館、美術館へ行くことも制限しているが、行きたい展覧会の情報収集は怠らない。
- ⑥日本社会福祉士会全国大会栃木大会を2年後に控え、今後、関係機関との連絡調整が増大するものと思っております。こまめな連絡・相談をおこない、意思疎通を図っていきます。各委員会の事業も増えてきており、事務分掌を整理し、事務が滞らないよう、努力します。



- ①菱沼 勲
- ②ひしぬま いさお
- ③相談支援センターきらり
- ④相談支援専門員
- ⑤剣道（子どもたちと一緒に楽しく稽古してます！）
- ⑥理事になり3期目になりました。できることからコツコツと取り組んでいきたいと思ひます。



- ①福原 健治
- ②ふくわら けんじ
- ③社会福祉法人至誠会
特別養護老人ホーム晴風園
- ④施設長
- ⑤ゴルフにハマリそう…
- ⑥理事として三期目、副会長として二期目となります。また、広報委員長も兼務しておりますので、ホームページ、メルマガ、広報誌等を通じて、本会の活動紹介や情報提供で、会員同士・関係機関等の情報交流促進に貢献できるように努めたいと思ひます。更に会員募集もPRしていきます。



- ①松永 千恵子
- ②まつなが ちえこ
- ③国際医療福祉大学
- ④教員
- ⑤マイブームはあんずやプラムを食べること。あんずの季節到来です。大石早生、美味しいです。
- ⑥栃木県社会福祉士会の発展のために力を尽くします。



- ①松本 広子
- ②まつもと ひろこ
- ③一般社団法人 南栃木社会福祉士事務所
- ④独立型社会福祉士
- ⑤歴史番組の一眼見。子どもの頃から歴史（特に近世日本史）が大好きでした。大河ドラマはもちろん、一つのテーマにこだわったマニアックな番組もよく見ます。今は時間をとれないので一眼見ですが、いずれゆっくりじっくりと昔の日本に思いをはせて見たいと思ひています。
- ⑥役員2期目を迎えました。眼前にある課題の解決に追われるばかりで積極的な活動ができていたか自信がありません。所属する災害福祉委員会と社会福祉士会副会長の責務を全うするには体力とアイデアが必要と感じています。最近になって「これは面白いかも」と思えることが増えました。役員の立場でつなげていけたらいいなと思ひています。



- ①松本 裕行
- ②まつもと ひろゆき
- ③OWL.Tochigi LLC
- ④代表
- ⑤山とコーヒー
- ⑥理事として三期目となります。副会長、さらに2024年開催の社会福祉士会全国大会 in 栃木の実行委員長を仰せつかりました。世の中に社会福祉士をアピールするために様々な取り組みを行っていく所存です。どうぞよろしくお願ひ致します。



- ①吉澤 洋介
- ②よしざわ ようすけ
- ③一般社団法人南栃木社会福祉士事務所 相談支援事業所Well-being
- ④代表理事／管理者兼相談支援専門員
- ⑤焼酎ハイボールに正嗣の餃子
- ⑥自分が初めて会員登録してから6年、自分に資質向上の機会と場を与えてくださった当会に感謝し、微力ながら会員皆様にお役に立てるよう努めます。



外部理事 2名

- ①石井 信行
- ②いしい のぶゆき
- ③至誠法律事務所
- ④弁護士
- ⑤山登り。特に、近くの低い山を散歩するような軽い気持ちで登ること
- ⑥三期目の理事を仰せつかりました。引き続き皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



- ①村井 邦彦
- ②むらい くにひこ
- ③宇都宮市医師会
- ④在宅医療・社会支援部担当理事
- ⑤子どもと登山
- ⑥地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現に向けて、ますます関係団体の連携が必要になってきています。特にお金や法律・制度、権利擁護等の相談を必要とする人は増え、なかでも医療も絡むと複合する課題を抱える人が少なくありません。地域における経済格差、健康格差の連鎖も気になります。皆様とともに、良い地域を作っていけるように考えていきたいと思ひますのでよろしくお願ひします。



監事 2名

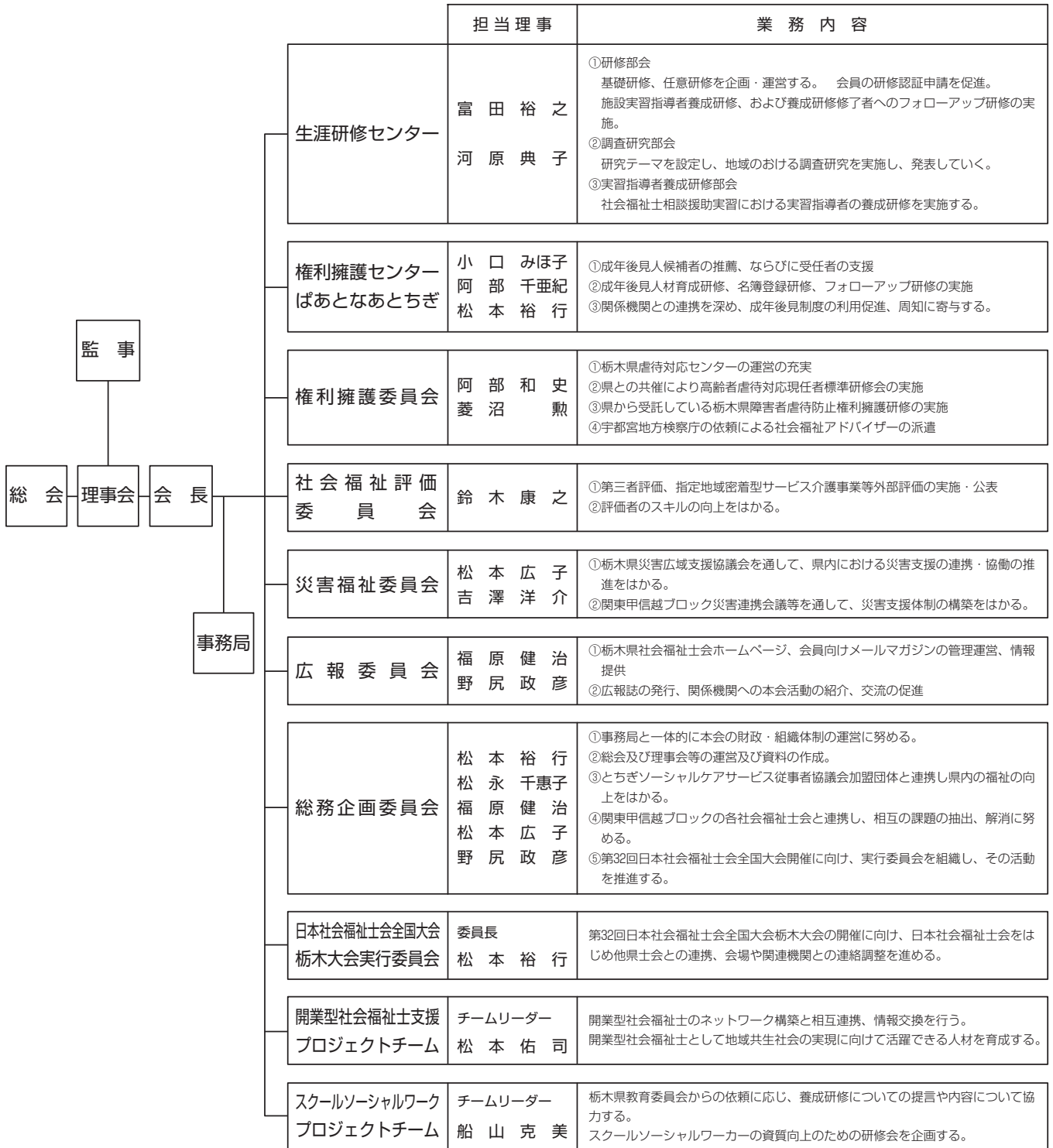
- ①池谷 友夫
- ②いけたに ともお
- ③東北福祉大学通信教育部
- ④非常勤講師
- ⑤登山と空を見上げること
最近では体力的なこともあり低山徘徊に魅力を感じています。
- ⑥監事として二期目になります。コロナ禍でのこの2年間、様々なところで変化を求められましたが、会員の皆さんのその対応力は、社会福祉士として備わっている問題解決力そのものではないかと思ひています。どうぞよろしくお願ひします。



- ①渡辺 みゆき
- ②わたなべ みゆき
- ③NPO法人うりずん
- ④相談支援専門員
- ⑤朝と寝る前のヨガ
- ⑥引き続きよろしくお願ひいたします。



2022～23年度 一般社団法人 栃木県社会福祉士会 組織図



情報の広場

- ① 調査研究部会報告書
- ② みやラジ出演紹介
- ③ 社会福祉士会入会キャンペーン

① 調査研究部会報告書

「A市における終末期在宅療養支援の現状と課題に関する調査研究」

大石剛史准教授（国際医療福祉大学）

調査研究部会では、2019年度より過疎地域を多く含み、医療福祉資源の乏しいA市における終末期在宅療養の現状と課題を研究して参りました。2020年初頭のコロナウィルスの感染拡大のため、当初計画してい

たインタビュー調査が出来なくなってしまい、研究期間も予定より大幅に超過してしまいましたが、昨年度、調査方法をアンケート調査に切り替え、昨年度末に無事報告書としてまとめることが出来ました。

研究を通して、過疎地域における終末期在宅療養の課題として、医療・福祉資源の不足、市民の終末期に関する知識や関心の不足などが課題になっていることが明らかになりました。一方、資源の乏しい地域においても、丁寧な患者や家族の意思を丁寧に聞き取ること、ニーズに応じた丁寧なケアマネジメントを行うこと、ケアマネジメントに基づいた多職種連携の支援を行うことで、質の高い終末期在宅療養支援を行うことが可能であることもわかりました。

今後はこの知見を用いて、ACP（アドバンスド・ケアプランニング）の重要性を市民に訴えること、丁寧な患者及び家族の意思の聞き取りの重要性などについて、研修等を通じて関連専門職に伝えていけたらと思います。研究報告書についてのご意見・ご質問等がありましたら、国際医療福祉大学の石大石までご連絡下さい。

②みやラジ出演紹介

「栃木県社会福祉士会がラジオに出演しました」
ミヤラジ（宇都宮コミュニティFM）で毎週木曜日午後1時から放送している宇都宮医師会企画の番組「行列ができる街かど相談室」に、2022年6月に社会福祉士会から5人が出演して、社会福祉士の活動内容

や思いなどを語らせていただきました。

出演者と内容は、①松永会長（社会福祉士とは）、②篠崎前副会長（第三者評価・外部評価）、③松本広副会長（障害者福祉・災害福祉）、④福原副会長（高齢者福祉）、⑤松本裕副会長（権利擁護）



松永会長

松本裕副会長

福原副会長



松本広副会長

篠崎前副会長

③社会福祉士会への入会キャンペーン実施中

これからの社会福祉士会の発展のため、若年層の方に向けて、初年度の年会費・入会事務手数料を免除するキャンペーンを、今年度から3年間、展開しますので、この機会に入会をご検討ください。

対象者：入会登録時30歳未満の方

内容：年会費15,000円、入会事務手数料2,000円が、入会初年度のみ0円

授産製品・店舗紹介

このコーナーでは、障害のある方々が作る授産製品や販売する店舗をご紹介します。

社会福祉法人めぶき会

就労継続支援A型いちごの里めぶきファーム

住所 〒323-0058 栃木県小山市大川島469
電話番号 0285-38-9940

2018年10月より「障害を持った方の「社会交流」「社会進出」を応援する」を指針に農業を主体とした事業を行う事業所として設立いたしました。



当事業所では農業班、製造班・清掃班のグループに分かれ現在35名程の利用者の方が利用されています。

農業班では関連企業である株式会社いちごの里ファームと連携し、農福連携事業を推進しています。主な作業内容としてはいちご・その他果実の育成補助、パック詰めなどの選果作業を行っています。今後は完全自社での運営を目指し運営していく予定です。

製造班では農業班から収穫された果実をもとにジャム・ゼリーなどを自社工場にて製造し、検品・納品作業を行っています。製造した製品は関連企業を中心に、県内の外資系のホテルや道の駅・サービスエリアなどにも卸を行い安定した収入を上げることができて

います。今後は更なる商品開発と生産性の向上を図ります。

清掃班では株式会社いちごの里ファームの敷地の清掃を定期的に行い、ご来園されたお客様に気持ちよく過ごしていただけるよう常にきれいな状態を保てるよう稼働しています。

来年の春にはB型事業所の開設も予定しており、より幅広い障がい区分の方の支援が行えるよう施設整備を行っていく予定です。



今後とも農業を主体とした事業所運営を行い、地域の皆様に愛される企業を目指します。

（理事 小黒悠輔）

福祉士 おもいのたけリレー

県内で活躍する社会福祉士が、実践への「おもいのたけ」を語っていくコーナーです。このコーナーは、リレー方式で次の社会福祉士につないで掲載していきます。
掲載内容：①氏名(ふりがな) ②所属 ③趣味 ④実践へのおもいのたけ ⑤次にバトンをつなぎたい方

- ①齋藤 匡史 (さいとう まさふみ)
- ②株式会社和 (なごみ)、ワークラボ フィオーレ宇都宮 (就労継続支援 B 型事業所)



主に精神障がい者、知的障がい者の方が在籍しており、コンビニ店や事業会社から委託されての清掃や除草作業、肥料会社の商品の下請け作業などがメイン (スポット的に様々な作業、月に 1、2 回お菓子作りや季節の行事のレクリエーション活動、作業だけではなく利用者様の日常生活が少しでも豊かになるように職員一同頑張っています。)

③休日には、話題となっている映画の鑑賞、読書、ジグソーパズルなど、最近では、サービス管理責任者研修の e-ラーニングを受講しています。この研修は、現場を 20 年間以上歩んできた私の経験が活かせると考えていますので、確実に取得したいと頑張っています。

- ④私が現場で大事にしていることの第 1 は、利用者様の気持ちをよく考えるということです。現場での実践においては、ソーシャルワークの理論通りにならないことも多い中、利用者様の気持ちを必死になって考え、福祉専門職としてふさわしい言動を心がけるということです。第 2 は、職場の主任として、ふさわしい立ち振舞いを心がけるということです。今までの自分は、周りから頼まれたことはすぐ行なうなど一生懸命、働いていましたが、職場内のコミュニケーションが十分でないと感じていました。そのため、福祉の経験がなく就職したパート職員の支援上の相談に乗ったり、今までの自分の体験談を話したりして、障がい者の方に対する支援の底上げを図ったり、障がい者に対する理解を深めてもらえる様にいろいろな実践をするということです。
- ⑤今回は、「くるえぼキッズ」の栃木憩子様へバトンを渡したいと思います。

栃木県社会福祉士会のブロック会・委員会・PT (プロジェクトチーム) の活動を紹介する掲示板です。

福祉士会通信

- 社会福祉士の皆さま、日頃の実践の質を高めるため、福祉士同士の輪をつくるため、是非会活動に参加しましょう。福祉士以外の方におかれましては、ブロック会等で研修会等を企画しております。是非ご参加ください。
- お問い合わせは、栃木県社会福祉士会までお願いします。

総務企画委員会 権利擁護委員会 (阿部和史) 生涯研修センター (富田裕之)
社会福祉評価委員会 (鈴木康之) 権利擁護センター (小口みほ子) 広報委員会 (福原健治)
災害福祉委員会 (松本広子) 県北ブロック (福原健治) 開業型社会福祉士支援プロジェクトチーム (松本佑司)
スクールソーシャルワークプロジェクトチーム (船山克美)

総務企画委員会

第 9 回定時総会は、5 月 29 日午後、とちぎ福祉プラザ 3 階福祉研修室にて開催されました。当日の出席正会員数 24 名、定款第 19 条にもとづく書面表決者数 269 名により、第 1 号議案、第 2 号議案、第 4 号議案、それぞれ承認をもって可決されました。また、第 3 号議案役員選任案については、選挙管理委員会から、当日参加者による信任投票結果と事前の書面表決による承認数について報告があり、役員選任案の通り、承認されました。

権利擁護委員会 阿部 和史

虐待対応センターとして、契約した市町の依頼に対して、弁護士とのチームでアドバイザーを派遣し、高齢者や障がい者の方への虐待の対応のアドバイスさせていただいています。また、司法福祉のひとつとして、宇都宮地方検察庁からの依頼で社会福祉アドバイザーを派遣し、疾病や障がい、社会的背景などがあるが故に軽犯罪を犯してしまった方に、面談を行い、福祉計画の作成などを行っています。さらに今後は、更生支援計画の作成などの新たな役割も担っていけるよう、他の機関や職能団体と連携を図り、あわせて権利擁護委員会の組織をより良く改善していければと考えています。

生涯研修センター 富田 裕之

○研修部会 (基礎研修・独自研修・実習指導者養成研修)



- ・基礎研修は、I (集合研修を年間 2 回)、II (同年間 9 回)、III (同年間 10 回) 開催しております。将来、成年後見人養成研修受講や、認定社会福祉士取得を目指す方にとっては必修となるため、毎回 20 名以上の会員の皆様に受講いただいております。今後も、ソーシャルワークの専門職としての基礎を学ぶ研修として、研修内容の充実を図って参ります。
- ・独自 (任意) 研修は、栃木県士会独自の研修を企画・運営しています。1 回目を、「【困難を有する若者に私たちができる「ちょっと」のこと】～不登校、ひきこもり成年にどう向き合うか～」と題して、一般社団法人栃木県若年者支援機構の代表理事の中野謙作氏をお招きし、5 月 14 日 (土) に開催しました。2 回目はまだ企画段階ですが、会員の皆様に自己研鑽の機会の提供のために実施を検討しています。詳細が決まり次第ご案内いたします。

ます。皆様のご参加お待ちしております。

・実習指導者養成研修は、9月10日11日に開催予定です。

○調査研究部会

調査研究委員会では、県民の福祉の向上に資する調査研究活動を行っています。間もなく「日光市における終末期在宅療養支援の現状と課題に関する調査研究」の調査研究成果をまとめ、皆様に報告できる予定となっております。ご期待ください。

社会福祉評価委員会

鈴木 康之

社会福祉評価委員会の活動は、主に第三者評価と外部評価です。第三者評価の活動は、福祉サービス事業所の提供するサービスの質に関して、客観的な立場から評価する事業です。評価対象の事業所は、栃木県内の保育所、障がい者事業所、特別養護老人ホーム、児童養護施設などです。外部評価の活動は、認知症対応型共同生活介護事業所(認知症対応型グループホーム)が行う事業所に対して評価機関が客観的に評価する事業です。

どちらの活動にも「評価」という言葉が入っていますが、事業所の欠点を指摘したり、指導したりすることではありません。事業所の方々が普段から努力されていること、工夫していることを評価する事業です。事業所の方々が持っている、普段からの取り組みや努力を様々な方々に知って頂けるように、両活動を進めていきたいと思っております。

少しずつ社会活動が再開されつつある中ではありますが、コロナ禍での状況を踏まえながら、委員会活動の運営を行っていきます。

権利擁護センターばあととなあとちぎ 小口 みほ子

権利擁護センターばあととなあとちぎでは、今年度も、成年後見人育成研修を開催します。

現在96名の成年後見人候補者名簿登録者があり、継続受任件数も296件と徐々に増加しております。昨年度の裁判所からの推薦依頼件数も88件と増加し、後見人候補者の育成が不可欠です。来年度も開催予定です。基礎研修Ⅲを終了された皆さんは是非受講してください。お待ちしております。

また、各市町社協法人後見運営委員会の委員の派遣や、市町社協法人後見支援員養成講座等の講師の派遣、成年後見制度利用促進体制整備アドバイザー派遣等活動の幅が広がっております。

広報委員会

福原 健治

広報委員会では、ホームページや会報などを通じて、栃木県社会福祉士会の活動内容の報告や研修会・求人などの情報を提供させていただいております。

先日は、新たな情報発信の媒体としてFMラジオにも出演させていただきましたが、普段から相談援助業務として人の話を聴くことが多く、人前で話をするのはあまり得意ではありませんので、緊張して上手く思いを伝えられませんでした。今回は、短時間でも正確に伝えられるようにすることの重要性について学ばせたいと思います。次はテレビ出演を目指し、努力したいと思います。

災害福祉委員会

松本 広子

栃木県社会福祉士会では最も歴史の浅い当委員会も3年目を迎えました。昨年は「栃木県社会福祉士会大規模災害時対応ガイドライン」を完成させ9月1日より施行としました。この中では、災害時情報集約掲示板のたちあげ、被災地支援活動協力員名簿の作成をうたっていますが有る際にどれだけの動きができるかが課題となります。平時にこそ準備作成にどれくらい力を注げるかが委員会の使命と考えています。また、委員各自が災害救助法を学びなおすことを今年度の目標としたいと思います。水害、地震、気候異変と私たちの生活を脅かす災いは引きも切りません。対する私たちも知識と実践力において、その都度アップデートする必要がありますと考えます。

かねてより県社会福祉士会が受託している福島県避難者住宅確保・移転サポート業務は委員により電話・

訪問相談を実施してきました。今後も引き続き相談活動をおこなっていきます。

また、一昨年よりとちぎ福祉プラザに設置している「きずなボックス」はフードバンクととちぎによる生活困窮者事業へ大きく貢献しています。

今年度はこれらの活動をさらに充実させていきます。よろしく願いいたします。

県北ブロック

福原 健治

コロナ禍の中、なかなか参集しての活動が出来ておりません。

with コロナとは言え、また感染者が増えて来てしまいましたので、しばらくは集合での研修会&懇親会が出来ない状況です。

コロナが落ち着くまで、それぞれのフィールドで、実践力を高めて行きましょう。

開業型社会福祉士支援プロジェクトチーム

松本 佑司

今年度から開業型社会福祉士支援プロジェクトチームリーダーを仰せつかりました松本佑司と申します。昨年度はチーム立ち上げに松本裕行副会長にご尽力いただき、僭越ながらバトンを受け取らせてもらいました。

昨年度は日本社会福祉士会の独立型社会福祉士事務所として名簿登録をされている方々に講話いただいたような想いがあって独立されたのか、今後どのような展望や狙いがあるのか等を現在開業している会員だけでなく、今後開業するかもという会員にとっても多くのヒントを提供いただきました。

今年度は他分野の専門職や開業間もない方から講話や意見交換を通じて事業展開の参考にできればと考えています。

9月に税理士には法人として税務会計知識等、10月に社会保険労務士には自身のワークライフバランスや雇入れる職員の待遇改善のヒント等、11月には県内で開業された会員から立上げ準備や設立後の運営について話を頂戴する予定です。

皆さんは開業すると休みなく、仕事とプライベートの区分けをするのが難しいのではないかとイメージもあるかもしれませんが、業務効率化が重要。そのためチームの定例会もオンラインと会場のハイブリット開催をしておりますので、ご自宅等からも気軽に参加可能です。

開業型社会福祉士支援プロジェクトチームは19名の会員で構成されています。現段階では開業を検討段階の方もいらっしゃる。既に独立開業している会員に限らず、社会福祉士として働く選択肢になるのかな?と疑問に持っていたらっしゃる方含め、定例会に気軽にいらして下さい。

もし、ご興味ある方いらっしゃいましたら

【socialwork.soeshia@gmail.com 松本佑司】までご連絡ください。

スクールソーシャルワークプロジェクトチーム

船山 克美

今年度もSSWプロジェクトチーム代表の船山です。よろしく願います。

本プロジェクトは、昨年度発足した新米プロジェクトです。SSWの皆さまだけでなく、子どもに関わる専門職の皆さまにも参加いただいています。昨年度は、栃木県教育委員会主催の養成講座に3名の講師を派遣しました。今年度も9月から始まりますので、興味のある方は、ぜひ参加してみてください。プロジェクトとしては、SSWの資質向上のための研修会の開催と、昨年度好評であった自由に話し合えるお茶会、事例検討会等を計画しています。また、日本社会福祉士会主催研修会の参加者の推薦も行っています。

SSWに興味のある方は、ぜひプロジェクトに御参加ください。なお、昨年度会員情報を共有していたアプリが使えづらいという意見が多かったので、今年度は再度登録となりますので、後日ホームページや会報に同封する予定のチラシをご覧になって、参加の希望があれば、ご連絡くださいますようよろしくお願いいたします。

講師派遣事業について

栃木県社会福祉士会では講師派遣事業を行っております。

本事業は、栃木県内の事業所等からの申し込みに応じ、会員を研修講師として派遣する事業ですが、実施にあたり、研修講師を希望する会員を募集いたします。

研修講師を希望される方は、栃木県社会福祉士会ホームページ内の下記 URL から申込書をダウンロードして必要事項を記入し、会員である第三者の推薦書

と一緒に申し込みください。

申し込み後、理事会にて審議し、承認されれば講師派遣事業の講師として活動することができます。

なお、毎年栃木県より委託を受けて実施をしている介護人材キャリアパス支援事業に登録されている講師は、同様の研修内容で登録となっております。

詳細についてはホームページをご覧ください。

<http://www.tochigi-csw.org/instructor.html>

フードバンクにご協力ください

新型コロナウイルスの影響で生活に困り、フードバンクを利用せざるを得ない方が急増しております。

栃木県社会福祉士会では「フードドライブ」を開発しております。「フードドライブ」とは、家庭などで食べきれないで余っている食品を持ち寄り、施設、フードバンクなどに提供する活動のことです。とちぎ福祉プラザ3階の共同事務所に「きずな BOX」を用意しておりますので、研修会や会議で福祉プラザにお越しの際には、一品でも結構ですので、ぜひお持ちください。なお、お預かりした食品は、フードバンクうつつのみや「もったいない」から「ありがとう」へ (fbu2189.org) にお届けさせていただきます。また、お持ちいただき

たい食品例(お米、レトルト食品、缶詰、乾物、お菓子など)、NG食品例(野菜、水)となりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

また、長引くコロナ禍の影響で、非正規雇用の女性や学生等が、経済的困窮で生理用品を買えない「生理の貧困」が新たな課題に浮上しております。県内のフードバンクでは食品とは別に既に配布が始まっておりますので、とちぎ福祉プラザ内共同事務所のきずなボックス、または、県内各地のフードバンクに直接お持ちいただければと思います。

なお、品物をお持ちするのが難しい場合は、事務所に募金箱も設置しております。

<栃木県社会福祉士会メールマガジン登録のご案内>

広報委員会ではメルマガ【栃木県社会福祉士会「情報交流の場」】で、研修会の案内や職員募集、国や県内等の新しい情報等を配信しております。

ご希望の方は下記アドレスから登録してください。

なお、申し訳ございませんが、「docomo.ne.jp」「ezweb.ne.jp」「t.vodafone.ne.jp」等のドメインご使用のメールアドレスには配信が出来ない方もいらっしゃるため、出来ればそれ以外のアドレスでの登録をお願いいたします。

info@tochigi-csw.sakura.ne.jp

・件名に『メルマガ登録希望』というタイトルをつけて、本文に「氏名」、「会員番号」、「受信用のメールアドレス」を、メールにて送信してください。

【会報についてのご意見や投稿を募集しております！】

取り上げて欲しい内容や会報の感想、また掲載して欲しい投稿をお寄せください。

ご意見や投稿には、「会報の意見」とタイトルをつけて、事務局まで FAX (028-600-1730) でお送りください。差し支えなければ、氏名、連絡先をご記入ください。匿名でも結構です。

皆様の貴重なご意見を会報作りの参考にさせていただきます。

編集後記

夏も真っ盛りですが、暦のうえでは秋が近づいています。誕生日(6月)になると1年が過ぎるのが早いと感じます。子供のころは何もかも新鮮で、学び吸収することが多かったからでしょうか。短いと感じたことはなかったと思います。

人生100年、これからも新しいことにチャレンジし、体力気力の向上を図っていきたくと思います。

(広報委員 折田)

広告

福祉用具のひまわり館

ひまわり館は、福祉用具や住宅改修を通じてお客様の身体状況や在宅での住環境に合わせたご提案をいたします。

また、お客様に清潔で安心な福祉用具をご提供いたします。病気や怪我により身体状況に変化があった場合、住環境の見直し・整備はご自宅での生活を継続するうえで欠かせないものです。

要介護者ご本人及びご家族の負担を軽減し、安全な環境で過ごせるよう経験豊富なスタッフがご相談に伺います。

栃木県では右記3営業所で営業しております。お気軽にご相談ください。

○大田原営業所：大田原市美原 2-3228-31

TEL：0287-24-6301

○栃木西営業所：日光市並木町 3-3

TEL：0288-30-7533

○宇都宮営業所：宇都宮市岡本 4125

TEL：028-671-8230

↑宇都宮営業所は、近々新店舗へ移転いたします！！

ホームページ：<https://www.himawarikan.co.jp>

↑ぜひご覧ください！

※今回から、会報に広告を掲載させていただくことになりました。掲載ご希望・お問い合わせの方は、事務局までご連絡ください。